

第2回 ホンネで語ろう「ぼうさい」イブニングカフェ

コロナ禍において当学会の研究発表会もオンライン開催となるなどなかなか皆様と顔を合わせて意見交換する機会に恵まれない状況にあります。この機会をとらえて、インターネット上で肩の凝らない、しかし、本質的な議論をできる場を作りたいと考えております。学会員でない方もご参加いただけます。コーヒー片手に気軽にご参加ください。

子供たちへの防災教育 と”モヤモヤ”

日時:2022年8月25日(木) 15:00~16:15

○開催方法:ZOOM

○申込方法:以下、URLからお申し込みください。(定員100名。定員になり次第締切させていただきます。お申込みと共に、事前アンケートにもご協力下さい。)

<https://zoom.us/meeting/register/tJcode6sqTKiEtEU7VbLo2-G8hXIN5vYtJeQ>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

○主催:日本自然災害学会

○連絡先:日本自然災害学会 中国・四国地区世話人 徳島大学 井若和久・金井純子

email: junko.kanai@tokushima-u.ac.jp(金井)

○趣旨

防災教育は、学校や地域のみならず、様々な機会・場を通じて、1. それぞれが暮らす地域の、災害・社会の特性や防災科学技術等についての知識を備え、減災のために事前に必要な準備をする能力、2. 自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力、3. 進んで他の人々や地域の安全を支えることができる能力、4. 災害からの復興を成し遂げ、安全・安心な社会を構築する能力、といった「生きる力」を涵養し、能動的に防災に対応することのできる人材を育成するために行われます(文部科学省)。

皆さんは、防災教育に関わったことはありますか?小中高の先生はもちろんのこと、防災士として、自主防災会として、防災や自然災害の専門家として、様々な形で協力している(したことのある)方も多いと思います。しかし、「子供たちに何をどう教えるべきか分からない」「防災の指導に自信がない」「教育効果が見えづらい」「指導者の自己満足になってはいないか?」など、指導者は多くの悩みを抱えているようです。今回は、そのような課題を乗り越えながら、学校等と連携して防災教育を実践されている講師2人をお迎えします。ディスカッションを通して、防災教育の実践方法とモヤモヤについて語りましょう。きっと、皆さまのお悩み解決につながる良いヒントが得られることでしょう。

○スケジュール

15:00-15:05 企画の趣旨説明とスケジュール

15:05-15:35 話題提供(15分×2人)

15:35-16:05 フリーディスカッション

16:05-16:15 まとめ



○Speakers

徳島大学環境防災研究センター助教 松重 摩耶 氏「四国防災八十八話などの防災教育活動について」

愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 山本 浩司 氏「事前復興の視点から学ぶ防災教育について」

○次回 関西地区 10月20日(木) 日本自然災害学会のHPやMLでお知らせします。